



# ほけんだより 7月号

平成30年7月2日  
百合が丘ひまわり保育園  
病児看護師  
保育看護師

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。水分補給や体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。



## 溶連菌感染症

6月に入り、溶連菌感染症に罹ったお子様が少しずつ増えてきました。溶連菌（ようれんきん）感染症とは、溶血性連鎖球菌という細菌による感染症で、喉の痛みを伴う咽頭炎の2割程度がこの菌が原因とされています。5～10歳くらいまでの子どもがかかりやすく、発熱で気付かれることが多く、咳やくしゃみなどでうつります。



2～5日の潜伏期間の後、喉の痛みや、扁桃腺が腫れる症状から始まり、頭痛、体のだるさなど、かぜの症状と同時に38～39℃の高熱が出ます。発熱から2～3日経つと、首や胸、手首、足首に粟粒状の発疹が現れて強いかゆみを伴い、やがて全身に広がります。同時に、舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツとした発疹が現れます。

溶連菌感染症と診断されたら、抗生物質を10日から2週間程服用します。早い時期から服用する程、治療効果があるとされています。発症から5日程経つと、熱も下がり、発疹や喉の痛みも治まります。予防には、手洗い・うがいが基本です。



熱がある時は、水分補給を十分に行いましょう。また、喉の痛みがあるため、熱い物や刺激物、柑橘系の果物は避けましょう。回復後、まれに急性腎炎やリウマチ熱にかかることがあります。症状が消えても、医師の指示があるまでは、薬の服用をやめないようにしましょう。




### プールでの目の病気が流行することがあります。

プール熱、流行り目の他、プールの塩素によるアレルギー性結膜炎や角膜障害を起こす場合もあるようです。お子さまが目をごすっていたり、目の充血、多くの目やに、ゴロゴロして違和感を訴えたりするようなことがあれば、早めに診てもらいましょう。

**目薬をさす時は…**

仰向けに寝かせ、目頭に1滴ずつ落とし、その後指で目を開けると目薬が入っていきます。目尻に落とすとそのまま目の中に入らないので気を付けましょう。



## お知らせ

7月 日(水) 歯科健診  
10時～ 小林歯科医師

注意事項

\* 歯科検診当日お休みの場合は、後日小林歯科へ受診して頂くようになります。

